2026年度　津田塾大学　卒業生に関する企業等へのアンケート　報告書

2026/10
学生生活課作成

調査概要

１）目的

卒業生が社会で活躍できるよう大学の教育の質の向上のため、卒業生が在学中に身につける学力や資質・能力及び養成しようとする人材像に照らして、教育の成果や効果を検証する

２）ヒアリング対象企業

・卒業生が在籍している
・大学との関係性が濃い

３）ヒアリング方法

・電話、オンライン、メール

４）ヒアリング実施企業

・製造業　　１社
・金融業　　１社
・運輸業　　１社

上記業界の人事担当者

５）ヒアリング内容

【1】在籍している卒業生、採用活動で接触のあった在学生の様子から身に備わっていると感じること
【2】大学生活で見つけたほうがよい力・能力

調査回答

【1】身に備わっていること

・社会の課題を自らの課題として捉えられる課題発見力
・正確で信頼できる情報を収集する
・問題を解決する能力
・自分の意見を論理的に相手にわかりやすく伝える
・円満な人間関係を築いたり調整する
・目標を設定し、計画的に実行すること
・目的に向かって集団の中でリーダーシップを発揮することができる
・責任感を持ってやり遂げる力
・未知の問題に柔軟に対応する力
・新しいことを学び続ける力
・当社に在籍している貴学出身者は、周囲との協調を大切にしながらも、課せられた

業務に対して最後まで責任を持って取り組む姿勢が印象的です。また、新しい業務や知識に対しても前向きに学ぶ姿勢が見られ、配属後の成長スピードも早い傾向にあると感じております。

【2】大学生活で見つけたほうがよい力・能力

・正確で信頼できる情報を収集する
・物事を批判的・多面的に考える
・自分の意見を論理的に相手にわかりやすく伝える
・効果的なプレゼンテーションができる
・円満な人間関係を築いたり調整する
・責任感を持ってやり遂げる力
・新しいことを学び続ける力
・目的に向かって集団の中でリーダーシップを発揮することができる
・業務上、社内外への説明や提案の機会が多くございますので、在学中から自分の考えを整理し、簡潔かつ論理的に伝える経験を積んでいただけると、社会人になってからより早く力を発揮できるのではないかと感じております。
・グローバル・AX/DX等が社内でもホットトピックとなる中で、自ら考え・行動し、変革の波を組織に巻き起こすことのできる人財の必要性を感じております。

以上